

令和6年度 決算の概要をお知らせします

決算の状況

令和6年度の一般会計および特別会計の決算は、歳入歳出差引56億1619万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源9億7389万円を控除した実質収支(次ページ表1)は、46億420万円となりました。歳人は、市税が160億9691万円で最も高く、地方交付税が135億3,416万円、国庫支出金が119億8,095万円で最も高く、総務費が90億1612万円で最も高く、歳出は、民生費が19億8095万円と続きます。また、全会計の市債残高(次ページ表2)は470億2,894万円で、前年度に比べ14億7298万円の増加となりました。基金残高(次ページ表3)は18億3,674万円で、前年度に比べ3億7691万円の減少となりました。

市債(市の借入金)の現在高

表2

会計	項目	金額
一般会計	臨時財政対策債	119億3,582万円
	土木債	87億5,607万円
	教育債	42億1,755万円
	総務債	28億7,449万円
	消防債	28億6,220万円
	衛生債	12億1,977万円
	農林水産業債	11億8,888万円
	災害復旧債	10億1,224万円
	減収補填債	1億1,806万円
	公営企業出資債	8,935万円
計	商工債	3,539万円
	減税補填債	2,106万円
	民生債	1,195万円
	一般会計(合計)	343億4,282万円
特別会計	天辰第二地区土地区画整理事業	11億3,674万円
	入来温泉場地区土地区画整理事業	2億8,143万円
	天辰第一地区土地区画整理事業	2億2,132万円
	国民健康保険直営診療施設勘定	1億6,272万円
	浄化槽事業	1,611万円
	特別会計(合計)	18億1,832万円
公営企業会計	下水道事業	56億7,107万円
	水道事業	44億2,266万円
	簡易水道事業	7億7,407万円
公営企業会計(合計)		108億6,780万円

令和6年度に実施した主な投資的事業

- 北薩3消防本部指令センターシステム構築整備事業
- 道路長寿命化事業
- 橋梁維持補修事業
- 国施行港湾関係事業
- 天辰第二地区土地区画整理事業

令和6年度実質収支

表1

	一般会計	特別会計	計
歳入①	655億106万円	262億2,590万円	917億2,695万円
歳出②	605億9,766万円	255億1,310万円	861億1,076万円
差引(①-②)	49億340万円	7億1,280万円	56億1,619万円
翌年度へ繰り越すべき財源③	8億8,089万円	9,300万円	9億7,389万円
実質収支	40億2,251万円	6億1,979万円	46億4,230万円

*計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

市有財産現在高(令和6年度末)

表3

区分	令和6年度末現在高	令和5年度末との比較増減
山林	8,010万7,174.52m ²	-
山林以外の土地	1,586万5,260.23m ²	46,480.65m ² 増
建物	62万6,088.08m ²	2,786.64m ² 減
有価証券	4,628万円	-
出資による権利	2億7,471万円	-
債権	6億2,884万円	18万円増
基金	181億6,134万円	3億7,691万円減

●全会計市債残高(合計)

令和6年度末全会計市債残高(合計)①	470億2,894万円
令和5年度末全会計市債残高(合計)②	455億5,596万円
比較増減(①-②)	14億7,298万円

●市民1人当たりでは…

令和6年度末市民1人当たりの全会計市債残高③	52万4,064円
令和5年度末市民1人当たりの全会計市債残高④	50万648円
比較増減(③-④)	23,416円

*計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

らもらうお金
の保育料など、
事業実施に伴う受益者か

緑越金：前年度から繰り越されたお金
入れるお金
分担金及び負担金：土地改良や保育園

緑入金：特定の事業に対し、國

公債費：これまでの施設整備などで借入金：基金の取り崩しや他会計から

衛生費：児童・高齢者・障害者の福祉などの経費

労働費：労働者福祉などの経費

商工費：商工業や観光振興などの経費

公債費：これまでの施設整備などで借入金：基金の取り崩しや他会計から

実質収支：歳入歳出差引額から翌年度に事業を完了できず、令和7年度へ度に事業を完了できず、令和7年度へ

実施を繰り越しした事業の財源へ繰り越すべき財源を差し引いた額で、地方公共団体の財政運営の良否を判断する重要なポイントとなります。

一般会計：予算の中心となる基本的には、全てこの会計で処理されます。一般的な会計で、他の会計に属さないものは、全てこの会計で処理されます。

特別会計：特定の事業を行う場合や特定の歳入をもつて特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区別して経理する会計のこと

一般会計：予算の中心となる基本的には、全てこの会計で処理されます。一般的な会計で、他の会計に属さないものは、全てこの会計で処理されます。

用語解説

用語解説

用語解説

特 別 会 計

（歳入）

項目	金額
介護保険事業	114億3,922万円
国民健康保険事業	109億9,314万円
後期高齢者医療事業	15億8,676万円
国民健康保険直営診療施設勘定	10億9,039万円
天辰第二地区土地区画整理事業	6億9,156万円
天辰第一地区土地区画整理事業	2億7,159万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	9,671万円
温泉給湯事業	4,555万円
浄化槽事業	1,100万円
合計	262億2,590万円

特 別 会 計

（歳出）

項目	金額
国民健康保険事業	109億7,341万円
介護保険事業	108億5,110万円
後期高齢者医療事業	15億8,255万円
国民健康保険直営診療施設勘定	10億8,830万円
天辰第二地区土地区画整理事業	6億1,386万円
天辰第一地区土地区画整理事業	2億5,572万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	9,576万円
温泉給湯事業	4,141万円
浄化槽事業	1,100万円
合計	255億1,310万円

*計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

公営企業会計

公営企業会計区分	予算額		執行率
	収入	支出	
水道事業	19億317万円	19億2,007万円	100.9%
	17億4,663万円	16億8,700万円	96.6%
簡易水道事業	2億8,242万円	2億7,112万円	96.0%
	14億1,211万円	13億1,811万円	93.3%
	3億1,820万円	3億2,473万円	102.1%
	3億611万円	2億7,019万円	88.3%
下水道事業	2億9,261万円	2億9,313万円	100.2%
	3億7,531万円	3億7,063万円	98.8%
	9億6,053万円	9億7,886万円	101.9%
	9億4,157万円	8億9,156万円	94.7%
資本的収支	14億6,693万円	9億5,605万円	65.2%
	17億1,260万円	11億9,622万円	69.8%